

「くまもと」400号では、私のテーマチック収集から、熊本県や九州などの考古学関連の切手や消印を紹介しました。ここでは、スペースの関係で省略していた関連事項を追記します。

図1は和水町の江田船山古墳を横から見た写真です。石棺室の入り口が後円部に設置され、中は自由に見学できます。古墳からは92点の国宝を含む多数の副葬品が見つかります。

図2の初日カバーに貼られた国宝シリーズ100円切手の銅鏡：神人車馬画像鏡も江田船山古墳の出土品です。同じく62円切手には、1784年に福岡県志賀島で発見されていた金印が描かれています。「漢の委奴（わのな）の国王」と読めるこの金印は、西暦57年に後漢の光武帝から贈られたものとされています。



【図1】国指定史跡・江田船山古墳（和水町） 前方後円墳は全長62m 左側が後円部で、右側は前方部 後円部にあるコンクリート部分は石棺室の入口



【図2】第3次国宝シリーズ第8集 62円金印および100円神人車馬画像鏡貼FDC、1989（平成元年）.8.15（初日）福岡中央特印押